

平成25年度 わくわく市民懇談会

1 日 時 平成25年10月31日（木）午後6時から午後7時40分

2 場 所 間山公民館

3 出席者 間山区民40名、小林忠一議員、小林東一郎県議会議員
市長、随員職員2名

4 次 第

- (1) 開会
- (2) 間山区長あいさつ
- (3) 市長あいさつ
- (4) 市長講話
- (5) 間山区からのテーマについて（市長）
- (6) 質疑応答
- (7) 閉会

市長あいさつ

○日頃は、中野市の行政にいろいろな形でご支援賜りましてありがとうございます。また、こういう機会を作っていただきまして誠にありがとうございます。いろんなところで市民の皆さんと、その地域ごとにいろんな話題でご提案を頂いております。そんな意味でざっくばらんに有意義に意見交換できたらと思います。

○行政にはやるべきことがたくさんございまして間口が広い。地元に戻りまして、元気で活力のある中野市を考えたときに、資源があるじゃないか、広域で連携共同という形で交流だというような話をしてきましたが、観光という側面で今、私が来年度に向けて取り組みたいと思っていることをお話したうえで、間山の皆さんのテーマについて若干ふれていきたいと思っています。

市長講話 一地域活力をどう生み出すか一

○地域とは、ということですが、定義にこだわると思考が停止します。ここでは、景観や環境など空間・エリアとして把握でき、固有の人間関係と自然との関係などがあり、分布・相互作用といった一定の指標で共通性を持つ場所としています。平たく言えば、間山区の皆さんには、間山区独自の文化があり、生き方があるということです。

○自然環境と人間による社会的括りという形で、共通認識で人的分布みたいなものがあると考えたときに、地球があり、日本があり、信州・信濃の国があり、北信地方があり、中野市があって全部入れ子構造になっている。細かく切っていけば切っていくほど特化されてくるので、どこかで共通性を見出して共感と協調ができるような行動をとる必要がある。逆に言いますと、これからは広域で思考を展開する必要があると思っています。

観光に力を入れる

○信越自然郷ということで今、広域で中野市・飯山市・妙高市を入れて観光開発をしようということですが、先ごろ市長会で新幹線の進捗状況の報告を受けました。9/1時点で長野～金沢間が91%できている。また、すでに金沢から先の敦賀までの間について、用地買収は99%終えているということで一部着工したという報告がありました。東京～金沢間2時間28分、東京～福井間2時間52分と、信越から北陸にかけてこれまでには考えられないような人流が走ります。

○私は観光に力を入れたいと考えています。例えば、産業観光、農業観光といった、観光の前に冠がつく観光がある。中野市には売れるものがたくさんあるので、そういった地域の価値をどんどん掘り出していく。それぞれの地域で、これからは自分たちの資源を掘り起こしていただきたい。そしてどう活かしていくかと言うことで、地域を考えてほしいと皆さんにお願いしています。

中野市観光ビジョン

○中野市では、平成 15 年に観光ビジョンを作り、「食と体感の交流舞台-信州中野」という形でメインテーマを決めました。

- ① 食・農・に感じる魅力づくり
- ② 花に感じる魅力づくり
- ③ 歴史・文化・芸術に感じる魅力づくり
- ④ 自然に感じる魅力づくり

この四つの柱立てに基づきまして、今まで取り組んできたのは、

- ① 観光農園への案内、猫の手援農隊、菊芋焼酎、伝統料理と地元素材による料理コンクール、お披露目商談会、特産品による地域の食文化情報発信、中野市産の酒・味噌菓子の紹介・販売、巡り合いウォーク、信州中野酒蔵展、地元食材を使った菓子作り、農商工連携研修会
- ② 一本木公園バラ祭り、「花ごよみマップ」、ローズタウン
- ③ 無相大師奉賛会、東山公園整備、谷街道・草津街道交差点 歴史の小径、観光ボランティア育成、土人形の里づくり、ひな市・祇園・えびす講、中山晋平記念音楽賞
- ④ 登山道・散策道整備、千曲川川下り、チョウゲンボウ探鳥会

これらをやることが誰にとって魅力なのか？それぞれの相互連携が取れているのかどうか、そうした連携をとることが情報発信を含めて行政の仕事ではないかと思っています。

もっと絞り込め！

○ バラバラと情報発信するのではなく、食なら食、観光なら観光、体感するなら体感するというような区分けをカテゴリーできて、相互連携でトータルにまとめて3つのテーマで発信したらどうだろうか。これからやることは、いつまでも市からお金が出るのではなく、切り口は、交流・連携・協働プラス事業化していくようなことを考えていく、自立できるようなことを考えるべきだということによっております。

点から面へ エリア連携へ

○中野市をおおよそエリアに区分けする考え方としては、小布施町の岩松院から東山まで一帯

をひとつのゾーンと考える。中心を陣屋の辺りとして、たかやしろの辺りの一画、ふるさと森文化公園周辺一帯、豊田地域と考える。それぞれにその地域をどう展開するか、ということを考えて何年までに何をどう整備するか、トータルに横連携で物事を考えていきたい。

思考事例 ～若者会議、観光戦略会議～

○若者会議は、市域に居住する若者たちが、行政と連携し、市の行政課題や環境変化を学び、共通認識のもと、次代のまちづくりを考え、市に対して意見・提言をするプラットフォームです。次代を担う若い人たちにこの地域を作ってってもらいたい。自分たちはこの地域をどうしていきたいか。こういう会議から情報集約を得て、行政に反映させていきたい。目的意識を持って、計画的に物事に対して開発をする、その一環として、中野市の観光開発をやりたいという風に思っております。それぞれが個性を生かして情報発信したうえで連携していくのがこれからの在り方であって、まずは自分たちのいいところは磨きをかけて目立つ、とんがることが重要だと考えております。

間山区からのテーマについて（市長）

1 主要地方道須坂中野線の開通について

これは高山村に通じる道で、40年来要望している。この道は開けば人が流れる重要な道になる。様子を見ながら要求している。

2 菅林道の整備について

グリーン・ツーリズムの一環で活用を考えたい。

3 温泉公園の現状と今後について

湯量が少ないという課題がある。間山温泉の性格をはっきりさせたいと思っている。市民のための福利厚生のためのお湯なのか・観光資源として活用するのか。

交流するには東京の学生を呼んできて、中野に泊って歩いて見つけてもらう。それには泊まれる施設がほしいと思っている。

中野の宝は、まちの東側から見る北信五岳で、間山からの景色はいい。

4 少子高齢化及び遊休農地

遊休農地は外から人に来てもらって、耕作してもらい、できたものを還元するような形で、来訪者を集中管理できるようなヘッドクォーターを作りたい。

観光に絡めて言えば、お客様が中野市に入ってきたとき、きれいに人の手が加わっているということを見せることが、その街の良さになる。なんでも新しい物を作ればいいわけではな

い。

5 その他

防災は点検して危険性があるようなところはおっしゃっていただきたい。今まで考えられなかったような気候変動により雨が降るということもあるので、恐れがあるところは早急に手を打っていかねばいけない。山崩れなど急傾斜地については気をつけていきたいと思っています。

○観光という切り口でお話し申し上げましたが、間山には間山の歴史・風土・文化があるので、それを繋いでいくと面的な展開ができるというような話を思っています。それは何かと言いますと、歩いてもらうことを前提に、延徳駅の前にお休み処がありまして、これまで物置きになっていて使われていなかったのですが、そこでお土産物など売ったらどうか。駅に中山晋平さんのオルゴールなど、自動的に流れるようなものを作ろうと言いだしています。来年はそういった意味でいろいろな仕掛けをやっていくつもりですが、まずは各地域で固まっていただいて、こう言った施設もそうですけれども、どんなことがあるのかなと地域の歴史なり、文化なり共有する物を探し当ててそれを繋いでいきたいと思っています。

質疑応答

○主要地方道須坂中野線について

【区民】

高山と間山を行ったり来たりが昔のようにできないような状況です。南部県道整備促進期成同盟会でも発言をさせてもらっているが、陳情の項目には入っているということですが、返事はただ金がないからという返事だけです。そうではなくてここをこうしたらどうだという返事をもらえるような、進め方をしていただければありがたい。市長も来年、一度通ってみてください。

○菅林道の整備について

【区民】

通称菅林道は上部の方では崩落が目立ちまして、車の通行は困難な状況です。間山区におきましては、補助金をいただいて毎年約 60m ずつコンクリートの舗装工事を行い整備に努めています。今年も崩落を防ぐためにブルーシートで覆って作業を行っています。この林道については、毎年何とかしてほしいと陳情しておりますが、今後どのように対応していただけるかお聞きしたい。間山の土砂災害の指定区域にされていますので土砂災害も予想される、防災という観点からも今後どのように対応してもらえるか。

【市長】

林道に関しては、別の観点からツーリズムみたいな形で歩けるという整備の意味を持たせることによって可能なのか、その変更がきくのかどうか、道路河川課に話はしておきました。あり方について調べて聞いてみてほしいと。問題は崩れてきていることで、いくらビニールシートで覆っても手に負えないとなれば森林整備にやってもらわないと、流れ出してくるようなことがあれば大変なことになる。そこは管轄のところきちんと見てもらって整備してもらうことが必要かと思っています。

【区民】

菅林道はコンクリート舗装を 30 年くらいは続けてきている。

【市長】

森林の管理だとすれば、道路ではなくて林務で見てもらわなくてはいけない。

【小林県議会議員】

山の崩落については大規模な崩落にはなりえないということです。大規模な崩落になれば国費を投入して守らなくてはならないが、幸いそのおそれはない。その辺はある程度ご安心を頂きたい。課題になっていますのは、道が通行不能になっているということ。それが山も若干崩れているわけですが、その辺が市道の関係と保安林の問題と二通り絡んでおりまして、県の林務の見方は全て道が原因で崩れていることということで、中野市に対応してもらいたいものであるという考え方である。それは市の道路河川と県の林務の方で詰めていただいて、対応はお願いしておきたいと思います。

【区民】

たまたま林道ということでみんな思っておりますが、市の交付金が増えるということで地元では何も知らない間に市道にさせられてしまっている。そういう意味では交付金をいっぱい取れたなら、それなりの金の使い方をしてもらわなくてはいけない。そうでなければ山の道の道、森林資源を活用するためには道がなければどうにもなりませんから、そういう意味の仕事をしてもらえればありがたい。

【小林市議】

市道認定になったのは昭和 57 年だそうです。間山区・中野市として管への抜ける道があれば非常に便利。是非よろしくお願いします。もし市道が林道に変更が可能だとしたら、そうすることによって林務の金が使えということになればそちらのほうがよろしいと地元では考えております。

○遊休農地について

【区民】

空き家・遊休地の管理・草刈等やりたいけどできない。今はできるがそういう作業が近々できなくなる。間山区が遊休地の草刈をして猪を食い止めている。もし放っておいたら町のほうへ猪が出て行ってしまおうので、中山間地の間山区には力を入れてほしい。我々に任せるとはなくて、こういうことは市のほうである程度率先してやってほしい。中野市で農業再生会議も一年前にアンケートをやっただけで全然進んでいない。

○温泉公園について

【区民】

職員には、もっと身だしなみ服装の改善をしてもらいたい。屋内外の清掃はもちろんのこと。サウナを利用するお客さんが多い。食堂（蕎麦は美味しい）に力を入れる。手間暇お金をかけるべき。

【市長】

経営のあり方、マネジメントだと思っていますので、その辺は話し始めたところです。

【区民】

以前、集客をするために巡回バスの運営をしていたが、いつの間にか終わってしまっていた。

【市長】

今、いろんな事例を持ちまして考えています。

【区民】

間山の産物はうまいという話を聞いている。ここで作ったものは、ぽんぽこの湯で料理して出せば必ず美味しい物ができると思っています。ぽんぽこの湯の活性化を図っていった方がいい。

【市長】

まず、食べ物がないと人が寄って来ない。そこに景色がありますから見てもらう。あとは、感じてもらう何かを仕掛ける。途中の花壇も、新しくする必要はないが手が入っている姿を見せることがおもてなしだと思っています。

【区民】

コテージハウスは泊まる前に清掃をやらないと虫が入る。

【市長】

管理運営ですね。

○松くい虫について

【区民】

松くい虫が増えてきている。森林組合で入札していながら実施されていないのでは困る。

【小林市議】

大熊から実施したが、間山まで予算が来なかったときいている。

○少子高齢化について

【区民】

私は認知症の母の介護をしています。少子高齢化といえば人口が減るとというのがひとつ、子供が少なくなるうえに高齢化、高齢化の中には認知症がありますが市長さんのお考えはどうでしょう。

【市長】

重点課題として考えたいと思っています。施設のあり方、在宅介護の問題等、市としてどう扱うかと今、検討に入っています。難問山積なんですけれども、できることから対応していこうと。介護員や、看護師など、なかなか人手が集まらないという問題もあります。

○久石譲さんについて

【区民】

久石譲さんは長野市の関係の仕事で取られてしまったのでしょうか。

【市長】

久石譲さんは、中野だけの方ではないと思っています。長野市で新市民会館の総監督になっていただいたということは、それはそれとしてよかったのではないかと。一方で中野市との関係については、娘さんの麻衣さんも息子さんも何回も帰省をして愛着を持っていただいている。これから来年に向けて、新たな先生の事務所との関係を作り上げたい。今、もう動いています。発表はできませんが、音楽の話ということなので久石さんは、奥様もですが、気にかけていただいております。

○農家民宿について

【区民】

農家民宿はどうか。

【市長】

考えています。登録してもらって、来訪者を泊めていただける家という形で。空き家対策にもなるかもしれない。簡単で安くて泊まれるゲストハウスを作りたいというのはあります。

○選挙について

【区民】

最近の選挙の傾向を見ると、半分以下の皆さんで当選者を決めているところが多い。選挙管理委員会に、もっとしっかり投票者のことを考えてもらわないと具合悪い気がします。

【市長】

中野市は投票率が低いので、真剣になっていろいろと対策・対応を考えなくてはならないと思っています。

○地元の野菜、遊休農地について

【区民】

ぽんぽこの湯で間山の野菜を使って、そこで料理してもらってそれが間山の味です、みたいなことができれば、自分にしても近くていいし、お金にもなる、ふれあいの場にもなる。それでブランド化できれば「間山ブランド」のような。あと、遊休農地も少しずつでも作れるものを提案していただければ自分としてもやりたいと思っています。

【市長】

行政に望むこと、期待することはありますか。

【区民】

売り先の確保をしてほしい。生計を立てられるような。ホームページの作成。

○温泉公園の今後について

【区民】

ぽんぽこの湯は最近いろいろありまして、さらに追い討ちをかけるように料金値上げがあった。値上げしたからにはそれなりに集客に対する対策はとっていただいたか。これは間山区民の考えです。ところがそういうのが全然見えてこない。現状を聞いていますと、人数が減ってきている。それを打開しないと、これからどうやって集客するか具体的に出していただきたい。

【市長】

施設の機能を明確にして、今のやり方がいいのか（指定管理者制度）、違うやり方がいいのか考えたい。今は、財務内容とか中身を見ています。見た上で一番いい判断をしていきたい。

○延徳駅について

【区民】

延徳駅が悲しい雰囲気です。駅で中山晋平先生の音楽が流れてくれるとありがたいです。明るくしていただきたいと思います。

【市長】

無人であっても、センサーで鳴るといふようなことをするだけでも違ふます。人が来たときどういふ風に感じてもらいたいかといふことを考えれば、すぐ出来ることはたくさんあると思ひます。

○新庁舎について

【区民】

市庁舎についてどう考えているか。

【市長】

長年にわたって、建てる位置に関して議論がされてきましたので、それに関して悩んでいたのは事実で、多くの人々の意見を聴いた上で決定しました。位置と建て方（新築）を決めたところではす。

○今日は忌憚のないご意見を頂戴いたしましてありがとうございました。非常に勉強になりました。今、皆さんがどういふ思いで何を一番心配されているか、どういふところに思いがあるかよくわかりました。皆さんと一緒に、よりよい中野市にしていきたいと思ひますので今後ともご支援をお願いいたします。今日はありがとうございました。